

☆ ★ 七夕の笹飾り ☆ ★



☆第2こだまの笹飾り☆

7月7日は七夕です。笹の葉を頂いて皆さんで飾り付けをしています。織姫と彦星が1年に1度だけ会える日として親しまれている七夕。七夕の飾りにはそれぞれ意味があるのをご存じでしょうか。一般的に、短冊に願い事を書いて笹の葉に飾りつける風習が有名ですが、これは笹の葉が神様の拠り所と考えられているからのようです。5色の短冊の5色は「青、赤、黄、白、黒（紫）」を指しており、古代中国の陰陽五行説の考え方に由来していると言われていて、自然界のすべてのものは「木、火、土、金、水」に当てはめて説明できるという考え方です。願い事に合った色の短冊に願いを書くことで叶いやすくなると言われています。利用者さんの願い事は毎年様々で「健康第一で過ごせますように」や「男が欲しい」「子ども達が健やかに育ちますように」や「毎日元気で過ごせますように」などなど。最初はなかなか筆が進まないのですが、いったん書き始めると次から次へとどんどん書いてくださいました。「もう1枚書きたい!」「私も!」「もっと書いていい?」と何枚も書かれた方もいらっしゃいました。笹の葉にそれぞれ短冊や折り紙で作った飾りを皆さんで飾り付けて頂いて7日の当日にはとても素晴らしい笹飾りができました。

7月7日は七夕です。笹の葉を頂いて皆さんで飾り付けをしています。織姫と彦星が1年に1度だけ会える日として親しまれている七夕。七夕の飾りにはそれぞれ意味があるのをご存じでしょうか。一般的に、短冊に願い事を書いて笹の葉に飾りつける風習が有名ですが、これは笹の葉が神様の拠り所と考えられているからのようです。5色の短冊の5色は「青、赤、黄、白、黒（紫）」を指しており、古代中国の陰陽五行説の考え方に由来していると言われていて、自然界のすべてのものは「木、火、土、金、水」に当てはめて説明できるという考え方です。願い事に合った色の短冊に願いを書くことで叶いやすくなると言われています。利用者さんの願い事は毎年様々で「健康第一で過ごせますように」



☆やまびこの笹飾り☆

やまびこ・第2こだまデイサービスでは スタッフを募集しています!

あなたも一緒に働きますか?

【第2こだまデイ/ホームヘルプスタッフ】

☆お散歩ボランティア ・週1日以上 TEL042-343-0456 担当 菅原

【小規模多機能やまびこスタッフ】

☆夜勤のできる方、☆送迎ドライバー ・時給1120円+α

やまびこ TEL042-349-3655 担当 高嶺

小規模多機能サービス/デイサービス/ホームヘルプ/移動サービス/介護支援センター

第2こだま通信

112号

2023年
8月



小規模多機能サービス やまびこ
小平市津田町3-27-7
TEL 042-349-3655
FAX 042-349-3656

第2こだまデイサービス
小平市津田町1-12-8
TEL 042-343-0456
FAX 042-313-6605



《発行》特定非営利活動法人地域福祉ネットワーク 第2こだま
ホームページ <http://kodama2.org>

暑中お見舞い申し上げます

地球温暖化が進み、暑すぎる夏の到来です。お体を十分においたわりください。やまびこや第2こだまデイも灼熱の日中の散歩は控えています。太陽の照り付ける中で歩き回っては危険です。どうかお元気でこの夏をやり過ごしてください。

薬用植物園に行ってきました



4年ぶりに行事の活動が始まりました。まずは、第1段として6/14~16. 20の4日間で 薬用植物園へ行ってきました。利用者の方も、初めてきたという方が多く、小平市に「植物園があることも知らなかった」という方もいらっしゃいました。この時期は、ラベンダー畑が満開で、とてもきれいな紫色といい匂いがして、「まるで北海道に来たみたい」や「集合写真はここだね」と、女性は女優のような笑

顔で撮ることができました。小雨が降った日もありましたが、温室内の植物、バナナやカカオなどを見て楽しむことができました。まだまだコロナ禍の心配があるため、お昼の外出会は中止しましたが、次回からはおいしい外食もできたらいいね、と話していました。



介護の事なら第2こだまにご相談下さい

理事長 木村重成

軍備大増強の動きが心配です

先の通常国会で、早々に成立した国の23年度予算です。「防衛費」は、6兆7880億円となっています。これだけでも26%以上の増加です。史上最高です。政府が5年以内に防衛力の抜本的強化を目指す中、さらに、「防衛力強化資金」という新たな枠組みを設け、外国為替資金特別会計の繰入金などで3兆3806億円を計上していて、これを合わせると防衛関係の予算は、10兆円を超える規模となります。これはもう戦争準備の国家予算と言われても仕方ありません。社会保障予算の伸びはわずかに1.7%の伸びでしかありません。医療、介護、年金、子育て、教育、生活保護など人生のすべてにかかわります。政府の役割の中心は、社会保障、つまり、国民のすべてに健康で文化的な生活の保障です。しかし、増えるのは軍事費ばかり。政府はさらに5年間で43兆円も軍備拡大に投入する計画です。このため社会保険料（医療・介護の保険料や利用料など）と増税の値上げも検討されています。とんでもないことです。

憲法9条をもつ国として恥ずかしい

日本国憲法の前文には次のように記されています。「そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。」と。ここで福利とは幸福と利益を意味します。つまり国政は国民の幸福と利益のために進められるべきことを示しています。第2次世界大戦で侵略戦争を進め、とりわけアジアの諸国民に多大な犠牲をもたらした日本は、その痛苦な反省として国政の原点をしっかりと据えて憲法9条をもつ日本国憲法をもちました。23年度予算から始まった大軍備増強の動きは、まさにこの日本国憲法の土台を揺るがすものではないでしょうか。憲法9条をもつ国として恥ずかしい限りではないでしょうか。しかしこの動きは始まったばかりです。まだ今のうちならこの動きを止めることができます。私たちは今こそ一人一人が国民主権者として日本国憲法に即した国政、すなわち介護や医療・子育ての充実を第一にすることを求めていく必要があるのではないのでしょうか。

引き続き移転先を探しています

もう少しで決まりそうだった移転先ですが諸般の事情により断念せざるを得ませんでした。中央公園に散歩に行ける範囲で引き続き探しています。みなさんからの情報連絡が頼りです。心当たりのあるところがありましたら是非ご一報をお願いします。

10万円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。

第2こだまデイサービスを移転せざるを得ない、ということをお聞きになり、少しでも役立てば、と10万円のご寄付をいただきました。直接第2こだまの介護サービスを利用されたことはありませんが、その方のお母さんの介護やお亡くなりになるとき相談に応じてもらったお礼を兼ねて、ということでした。移転費用の一部に使わせていただきます。



理事長 木村重成

NPO第2こだまは6月18日（日）に第25期の総会をやまびこを会場にして開きました。総会は会員数（委任状含む）の過半数を超えて成立し、22年度事業報告、23年度事業方針とともに承認されました。なお、総会終了後、介護をよくする東京の会の事務局の窪田さんから「2024年度介護保険制度改正の動向」と題して記念講演をしていただき、社会保障のあるべき姿からますます離れていこうとしている介護保険制度の問題点について学びました。人権を保障するものとしての社会保障が備わっているかどうか、「料金負担とは関係なく、すべての人に平等に国や自治体によって」権利として保障されているかどうか、の問題点を明らかにしていくことが大切、と学びました。国民一人当たりの社会保障関係の予算はアメリカ、フランス、ドイツ、イギリスよりも低いままにとどまっていることも明らかにされました。

22年度の決算状況は下記のとおりです。22年度は幸いにも黒字達成となりました。その黒字分については、総会で介護スタッフの賃金改善及び物価値上げの折ですが、食事代を据え置くことで利用者にも還元していくこととしました。

23年度の事業方針では利用者減が見込まれることから赤字に陥る可能性が高いができるだけその幅を抑えていくこと、24年度の介護報酬改定に向けて介護保険料・利用料の値上げではなく政府の予算措置での待遇改善を求めていくこととしました。

(単位=千円)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	増 減	前年比
小規模多機能	55,070	50,320	57,988	55,274	59,996	4,722	108.5%
デイサービス	35,135	34,428	34,836	35,854	39,385	3,531	109.8%
ホームヘルプ	1,662	1,027	1,302	1,416	1,054	-362	74.6%
移動サービス	1,647	1,828	1,754	1,526	1,791	265	117.4%
居宅介護支援	1,068	3,675	3,813	3,705	3,452	-253	93.2%
事 業 合 計	94,582	91,278	99,693	97,775	105,678	7,903	108.1%
人 件 費	73,243	74,906	73,622	73,916	77,501	3,585	105.9%
諸 経 費	20,166	21,704	21,450	25,440	26,547	1,107	104.4%
収 益	2,126	-5,332	4,621	-1,581	1,630		
会費・賛助会費	296	271	337	226	128		
寄付/補助他収入	3,766	1,538	1,819	1,516	3,279		
小規模多機能利用者数	20.9人	20.3人	22.3人	19.8人	21.9人	*月平均利用者数	
デイサービス利用者数	33.6人	32.6人	29.2人	25.8人	25.8人	*月平均利用者数	
ホームヘルプ利用者数	8.9人	12人	12人	16.3人	11.6人	*月平均利用者+ボラ数	
移動サービス利用回数	30.6人	37.1人	38人	32.7人	38.9人	*月平均利用者数	
居宅介護支援利用者数	8.9人	25人	25人	25.4人	29.3人	*月平均利用者数	
スタッフ数	23/16人	23/17人	21/18人	25/18人	27/18人	*小規模多機能/デイ他	
ボランティア数	10人	10人	6人	7人	7人		
合計従事者数	49人	50人	45人	50人	52人	*従事者数は年度末現在	